

和文解説記事

1. 寺倉清之
「金属表面の電子状態 -主に遷移金属について-」
物性 15巻(1974)53.
2. 寺倉清之
「遷移金属化合物の電子状態 -高転移温度超伝導体の転移温度とフォノン異常」
日本物理学会誌 33巻(1978)751.
3. 寺倉清之
「遷移金属合金の電子状態 -非遷移元素不純物-」
日本金属学会会報 20巻(1981)477.
4. 寺倉郁子、寺倉清之
「表面原子再配列 -Mo及びWの(001)表面を中心にして-」
月間フィジックス 4巻(1983)150.
5. 寺倉清之
「金属凝集の電子論入門 -”溶質原子の大きさはどうして測る?”に答えて-」
日本鉄鋼協会誌「鉄と鋼」69巻(1983)1955.
6. 寺倉清之
「大型電子計算機を用いた固体電子状態の計算」
Supercomputer Workshop (分子科学研究所電子計算機センター)
Report 1 (1983) 88.
7. 寺倉清之、浜田典昭
「バンド計算法の最近の発展(I)」
固体物理 19巻(1984)449.
8. 寺倉清之
「バンド計算法の最近の発展(II)」
固体物理 20巻(1985)700.
9. 寺倉清之
「固体電子論と材料科学」
日本金属学会会報 26巻(1987)583.
10. 寺倉清之、朴埜宅、小口多美夫
「酸化物高温超伝導体の構造と電子状態」
固体物理 22巻(1987)761.
11. 寺倉清之
「バンド理論と超伝導体」
数理科学 No. 298 (1988) 64.
12. 吉田博、寺倉清之
「電子状態計算と物質設計システム」
固体物理 24巻 (特集号:計算物理)(1989)277.
13. 寺倉清之
「計算物理学 -物性研究の新しい流れ」
科学 60巻(1990)306.
14. 寺倉清之
「電子状態計算の役割」
固体物理 25巻(特集号:高温超伝導-物質・物性・理論-)(1990)673.
15. 寺倉清之、池田稔

- 「エピタキシャル成長のシミュレーション」
セラミックデータブック('91)工業製品技術協会編 pp.52.
16. 小林一昭、寺倉清之
「第一原理計算でどこまでいけるか？」
鉱物学雑誌 21巻(1992)211.
 17. 森川良忠、井上耕一郎、寺倉清之
「Si(001)表面における秩序・無秩序転移とアルカリ金属吸着の理論」
表面科学 14巻(1993)2-9.
 18. 森川良忠、寺倉清之
「第一原理分子動力学法」
日本物理学会誌 48巻(1993)428-437.
 19. 寺倉清之、井上耕一郎、森川良忠、山崎孝浩
「Si(001)再構成表面の秩序・無秩序転移」
固体物理 29巻(1994)204-212.
 20. 宮崎剛、寺倉清之
「DCNQI-(Cu, Ag, Li)系金属相に対する第一原理電子状態計算」
固体物理 30巻 (1995) 961 - 969.
 21. 寺倉清之
「バンド計算における最近の発展(その1)」
固体物理 30巻 (1995) 993 - 999.
 22. 寺倉清之
「バンド計算における最近の発展(その2)」
固体物理 31巻 (1996) 27 - 32.
 23. 寺倉清之
「バンド計算における最近の発展(その3)」
固体物理 31巻 (1996) 823 - 827.
 24. 寺倉清之、澤田英明、Igor Solovyev、浜田典昭
「ペロフスカイト遷移金属酸化物の構造、電子状態、磁性」
固体物理 32巻 (1997) 273 - 283.
 25. 寺倉清之
「バンド計算における最近の発展(その4)」
固体物理 33巻 (1998) 596 - 602.
 26. 池田隆司、寺倉清之
「ハロゲン化水素の水素結合とその圧力依存性」
高圧力の科学と技術 10巻 (2000) 26 - 32.
 27. 寺倉清之、方 忠
「理論から見た複酸化物表面の現状と今後」
表面科学 21巻 (2000) 2 - 10.
 28. 寺倉清之、森川良忠、Mauro Boero
「触媒反応の第一原理シミュレーション: 動的過程の解明に向けて」
触媒 42巻 (2000) 200 - 206.
 29. 寺倉清之
「20世紀における計算物理と将来展望—物性物理から計算物理まで—」
応用物理 69 巻 (2000) 965 - 970.
 30. 寺倉清之
「基礎理論の発展と応用」

- 固体物理<誘電体物理の新しい展開> 35巻 (2000) 620 – 632.
31. 池田隆司、寺倉清之
「第一原理からの結晶構造予測」
日本結晶学会誌 44巻 (2002) 3–7.
 32. 相澤秀昭、寺倉清之、M. Boero
「第一原理計算による触媒の物性予測」
固体物理<計算機ナノマテリアルデザイン>39巻 (2004) 824 – 830.
 33. 寺倉清之
「ナノテク計算科学における課題」
計算工学 9巻 4号 (2004) 1017 – 1021.
 34. 寺倉清之、池田隆司、M. Boero
「第一原理分子動力学法による水の物理・化学的性質のシミュレーションー超臨界水と高圧下メタンハイドレートー」
低温科学 64巻 (2005) 57–69.
 35. 寺倉清之
「計算科学: 見えないものを観る」
マテリアル インテグレーション 20巻 5号 (2007) 4–10.
 36. 寺倉清之、翁 紅明
「遷移金属ーベンゼンサンドイッチクラスターの電子状態と磁性」
固体物理<生物物質科学: 金属を含む分子系を中心に> 43巻 (2008) 71–78.
 37. 石橋章司、寺倉清之、妹尾仁嗣、小林昭子
「単一分子性伝導体の構造と電子状態」
固体物理<生物物質科学: 金属を含む分子系を中心に> 43巻 (2008) 93–102.
 38. 石橋章司、寺倉清之
「新超伝導体の母物質LaFeAsOの結晶構造と磁気秩序の理論的予測」
固体物理 43巻 (2008) 57–66.
 39. 寺倉清之
「第一原理分子動力学法による溶液化学のシミュレーション」
応用物理 77巻 (2008) 1220–1224.
 40. 寺倉清之
「ハイパフォーマンスコンピューティングが解き明かす物質科学」
応用物理 80巻 (2011) 568–573.
 41. Hieu Chi Dam, 寺倉清之
「解析から予測へ、予測から設計へ」ー マテリアルズ・インフォマティクス ー
表面科学 36巻 (2015) 507–514

単行本

1. “Metallic Superlattices – Artificially Structured Materials”
ed. by T. Shinjo and T. Takada (Elsevier, Amsterdam, 1987)
Champter 7: Theories on Metallic Superlattices.
2. 「計算材料科学」
堂山昌男、山本良一編(海文堂、1987)

- 第5章:物性物理と計算物理
3. 「R&Dコンピューティング要覧」
(サイエンスフォーラム、1988)
第III篇、第1部、第2章3節:物性研究における計算機実験
 4. 「計算物理学」
日本物理学会編(培風館、1991)
第12章:電子状態からの物性予測
 5. 「固体表面の物理 -表面新物質相-」
吉森昭夫、村田好正、八木克道(学会出版センター、1992)
p. 40 :固体表面の電子状態(石田浩と共著)
p. 44 :アルカリ吸着表面の電子状態(石田浩と共著)
 6. 「表面新物質相とエピタキシー」
日本物理学会編 (培風館、1992)
第5章:金属およびSi表面におけるアルカリ金属吸着
 7. “Meson Science” ed. by T. Yamazaki, K. Nakai and K. Nagamine
(North-Holland, Amsterdam, 1992)
Chapter 6: Hyperfine interactions of μ^+ , muonium and μ^- in solids
(赤井久純、金森順次郎と共著)
 8. 「計算理学の方法」
岩波講座、応用数学8 (岩波書店、1994)
第2章:物質設計の数理
 9. 「固体-構造と物性」
岩波講座、現代の物理学7 (岩波書店、1994)
第1部:固体の電子状態
 10. 「破壊・フラクチャの物理」
岩波講座 物理の世界 物質科学の発展 3 (岩波書店、2007)
(蕪木英雄と共著)
 11. 「ドーブしたグラフェンの電子状態・触媒活性」
エレクトロニクスシリーズ グラフェンの機能と応用展望 第3章
監修:齊木幸一郎、徳本洋志 (シーエムシー出版、2009)
(池田隆司、S. F. Huang, M. Boero と共著)
 12. 「カーボンアロイ触媒の原理」
新材料・新素材シリーズ 白金代替カーボンアロイ触媒
監修:宮田清藏 (シーエムシー出版、2010)
(池田隆司、S. F. Huang, M. Boero と共著)
 13. 「物質の電子状態 上」
R. M. マーチン 著
寺倉清之・寺倉郁子・善甫康成 訳
(丸善、2010)
 14. 「物質の電子状態 下」
R. M. マーチン 著
寺倉清之、寺倉郁子 訳
(丸善、2012)